



東京2020聖火リレー × 教育プログラム

聖火や聖火リレーについて学んでみよう！

取組内容レポート

Vol.8 福島県楡葉町立楡葉中学校



学校区分

中学校

参加学年・参加人数

全学年・39名

教科名

総合的な学習
の時間

概要

国立大学法人筑波大学の協力を得て、「オリンピックと聖火」と題した講演と東京2020聖火リレー応援メガホンづくりワークショップを実施。本校のほか楡葉南小学校、楡葉北小学校の5年生、6年生計31人と教職員約20人も参加。

楡葉町は東京2020オリンピック聖火リレーのグランドスタート地であるJヴィレッジが立地していることから、ギリシャ共和国を相手国とした交流が始まり、「復興ありがとうホストタウン」となった。

今回の授業はその一環として実施した。講演は、オリンピックと聖火リレー、採火式、ギリシャ共和国の歴史、文化等について、筑波大学真田久教授、大林太朗助教と留学生を含む筑波大学の教員、学生が行った。東京2020聖火リレー応援メガホンづくりワークショップは、応援メガホンを日本語版と英語版で2種類を楡葉中学校、楡葉南小学校、楡葉北小学校の児童、生徒と筑波大学留学生と一緒に作成した。

成果（児童・生徒の感想等）

まず、筑波大学真田久教授、大林太朗助教から、オリンピック・パラリンピックの意義や歴史と、ギリシャ共和国の歴史や文化を講演していただき、授業が始まった。

ギリシャ共和国出身の筑波大学教員によるギリシャ語ミニ講座や聖火採火式に出席した筑波大学留学生の解説等、工夫を凝らした楽しいプログラムを企画していただき、参加した児童、生徒は喜びながら理解を深めることができた。

その後、東京2020聖火リレー応援メガホンづくりを、様々な国や地域から来ている筑波大学の教員、学生の皆様と一緒にいき、参加した児童、生徒にとっては、またとない国際交流機会となった。

今回の授業は、中学生が運営や進行を行った。

写真等



【国際オリンピック委員会 (IOC) バッハ会長からのメッセージ】
今回の楡葉中学校での授業にメッセージを寄せていただきました。



【東京2020聖火リレー応援メガホンづくり】
様々な国や地域出身の教員、学生の皆様と国際交流が進みました。



【みんなで記念撮影】
楽しくみんなで記念撮影しました。